

撮影詳細一覧

項番	技術名	内容		留意事項/事業概要(参考)
1	トリリオンノード・エンジンの研究開発	撮影なし		(留意事項) 事業者から提供する動画を編集して映像を作成予定(撮影なし)
2	超高効率データ抽出機能を有する学習型スマートセンシングシステムの研究開発	説明	赤外線センサによる温度変化自動監視	(留意事項) 事業者から提供する動画と左記にて撮影する動画データを組み合わせてデモ映像を作成予定。 (事業概要) 工場のIoT導入による生産性向上のため、学習機能を備えたエッジ処理によりデータ量・データ送信量を削減するスマートセンシングシステム、高信頼無線通信による動的センシングで自動最適化するスマートセンサ端末(赤外線アレ、ガスセンサ)、センサ端末の無給電動作を実現する環境発電(振動発電)の開発を行う。
		撮影地	神奈川県川崎市(NEDO) 屋内 撮影物・内容 ・赤外線センサによる温度変化自動監視自立電源(振動発電/光発電ハイブリッド)で駆動する赤外線アレセンサ端末を用いて、高温物の表面温度を、コンセントレータが温度閾値を学習により自動で設定し、赤外線センサを無線で動的制御し、取得した画素の温度情報及び送信データ量の削減効果をモニターに表示させる。	
3	革新的AIエッジコンピューティング技術の開発/進化型・低消費電力AIエッジLSIの研究開発	説明	チップを使ったAI認識デモ	(留意事項) 事業者から提供する動画と左記(撮影地1, 2)にて撮影する動画データを組み合わせてデモ映像を作成予定。 (事業概要) 本事業は低消費電力・低コスト・低遅延のAIエッジLSIの研究開発に取り組んでいる。このLSIが物流やセキュリティ・見守りシステム、車載センシングシステムといったネットワークの末端(エッジ)側に組み込まれることで処理の分散化が実現され、データの高度な利活用促進が加速される。今回の動画では、そのチップに使われている物体認識の様子や、チップを自動走行台車に搭載した際の動きを撮影予定。
		撮影地1	京都府京都市 屋内 撮影物・内容 ・チップを使ったAI認識デモ ①人骨格検知 カメラから人を撮影し、人骨格検知結果をディスプレイに表示 ②物体検知 動画映像に対する物体検知結果をディスプレイに表示	
		撮影地2	愛知県大府市 屋内(工場内) 撮影物・内容 1. AIエッジLSIを搭載した車載ECU 2. 上記車載ECUで動作する自律走行台車 	
4	完全自動運転に向けたシステムオンチップとソフトウェアプラットフォームの研究開発	説明	自動運転車両の動作デモ	(留意事項) 撮影地1, 2にて撮影する動画を組み合わせてデモ映像を作成する予定。 (事業概要) 完全自動運転に向け、ネットワークの末端(エッジ)である車両において、限られた計算資源下でもリアルタイム性をもち、従来の10倍以上の高速データ処理を達成するシステムオンチップ及びソフトウェアプラットフォームを実現する。
		撮影地1	東京都西新宿駅付近公道予定 屋外 撮影物・内容 自動運転車両の動作デモ	
		撮影地2	東京都品川区 屋内 撮影物・内容 PC画面等を用いた自動運転ソフトウェアの説明	
5	人工知能を用いた胃がん内視鏡画像読影支援システムの構築と海外遠隔診断への展開	説明	内視鏡検査中に使用する胃がん鑑別AIの紹介、二次読影支援AIの紹介	(事業概要) 内視鏡検査は、がんの早期発見・早期治療のために極めて重要な検査方法である。しかし、内視鏡検診で求められる2次読影の負担などにより地域間で導入状況の格差が生じている。そこで、2次読影時の読影医の負担軽減やがんの見落とし防止を実現するAIを開発することを目指す。
		撮影地	東京都豊島区 屋内 撮影物・内容 ①内視鏡検査機器:内視鏡検査時に使用する医療機器一式 ②デスクトップパソコン画面:内視鏡検査中に使用する胃がん鑑別AIの仕様イメージ紹介 ③ノートパソコン画面:二次読影支援AI。内視鏡検査完了後、胃がん検診の二次読影で使用する。	
6	移動情報統合データ基盤(TraISARE: Transport Information Store with Aggregator, Receiver and Encoder)の構築	説明	交通に関する情報やデータを統合的に扱えるデータ基盤を活用した、各種データの可視化システムのデモ	(事業概要) 交通に関する情報やデータを統合的に扱える基盤を構築することで、交通事業者や自治体、デベロッパー等の事業者による交通データを活用したMaaSアプリケーションやシステムの構築を容易化・迅速化・低コスト化し、MaaSの社会実装の加速に貢献する。さらに、交通以外の領域とのデータ連携を実現することで、従来の仕組みでは困難であった新たなサービスの実現に貢献する。
		撮影地	東京都千代田区 屋内 撮影物・内容 交通に関する情報やデータを統合的に扱えるデータ基盤の概要説明と、それを活用した各種データの可視化システムのデモ	
7	超低消費電力型光エレクトロニクス実装システム技術開発	説明	光接続したサーバと電気配線をつないだサーバと比較した、光接続による圧倒的な処理性能のデモ	(事業概要) 光電子集積技術を活用することにより、データセンタ等におけるサーバシステム、光通信システム向けIT機器の大幅な省電力化を目的とする。具体的には、従来は電気配線を用いていたLSI間やLSI-メモリ間、ボード間のデータ通信を光配線を用いた光回路により置き換える光配線技術と電子回路を融合した光エレクトロニクス実装システム技術(光電子融合サーバボード等)を実現する基盤技術を確立する。
		撮影地	東京都府中市 屋内 撮影物・内容 ①世界最小の光トランシーバ、光I/Oコアの紹介 ②光I/Oコアを搭載したFPGAボードの紹介 ③ラック型サーバの紹介 ④大規模計算を実演し、電気配線に比べ光配線が圧倒的に早いことを示す 	